

特定非営利活動法人 ひらかた環境ネットワーク会議

平成 27 年度 第 1 回理事会議事録

1. **日時** : 平成 27 年 5 月 8 日 (金) 午前 11 時 00 分～

2. **会場** : サプリ村野 環境保全研修室

(特定非営利活動法人 ひらかた環境ネットワーク事務局会議室)

3. **理事総数** : 17 名

4. **出席者数** : 16 名 (本人出席 : 11 名、委任状出席 : 3 名、議決権行使書 : 2 名)

5. 議案

第 1 号議案 役員候補者の選任に関する件

第 2 号議案 運営委員任命の件

第 3 号議案 平成 26 年度事業報告書(案)承認の件

第 4 号議案 平成 26 年度活動決算書(案)承認の件

第 5 号議案 平成 27 年度事業計画書(案)承認の件

第 6 号議案 平成 27 年度活動予算書(案)承認の件

6. 議事経過及び結果

- (1) 末岡理事が本日の理事会は、定款第 36 条に定める定足数を満たして有効に成立している旨を述べて、開会を宣言した。
- (2) 定款第 35 条の規定に基づき、丸井理事が議長に就任した。
- (3) 定款第 39 条第 3 項の規定に基づき、議長が議事録作成人に末岡、議事録署名人に市山理事、井上理事を指名した。

(4) 第1号議案「役員候補者の選任に関する件」

議長が上記議案を上程し、丸井理事が現在監事が1名であるため、1名の増員が望まれていたが、昨年暮れに中塚賢氏の内諾がいただけたので今回候補者として提案する旨の説明をした。その後議長が全員に諮ったところ、全員異議無く原案どおり承認可決した。

(5) 第2号議案「運営委員任命の件」

本日理事会をもって全運営委員の任期が満了するのに伴い、議長は上記議案を上程した。原案の運営委員候補者名簿について、丸井理事が概要を説明し、議長が承認を全員に諮ったところ、全員異議無く原案どおり承認可決、運営委員11名が任命され、運営委員候補者は全員就任を承諾した。又、運営委員長には丸井晶子が選任された。

<運営委員 11名>

伊丹均、井上祥子、進藤弘司、末岡妙子、竹島健次、田中晃、

田中靖之、宮村隆喜、豊高勝、丸井晶子、大倉伸之（枚方市環境保全部次長）

<運営委員長>

丸井 晶子

(6) 第3号議案 「平成26年度事業報告書(案)承認の件」

第4号議案 「平成26年度活動決算書(案)承認の件」

議長は上記議案を上程し、丸井理事が概要の説明を行った。その後議長が質疑を求めたところ、下記要約の通り質問がなされ、担当者が説明を行った。その後、議長が承認を全員に諮ったところ、全員異議なく一部加筆修正した原案を承認可決した。

※質疑応答

谷崎理事：活動計算書の数字についている▲についての説明を。

丸井理事：予算と実績の差で、経常収益の場合は予算に対して不足、経常費用の場合は予算より少ない支出であることを表している。

市山理事：寄付について、事業指定寄付のみだが、会に対する寄付はないのか？

丸井理事：ない。事業寄付で使い勝手が悪いということも現状はない。また寄付する側も、事業に対してのほうがしやすいという面もある。

市山理事：管理費に計上されている交通費について、700円は予算に対して少なす

ぎるのではないか

丸井理事：各事業に関連して発生する旅費・交通費はそれぞれの事業の所で計上されている。

阿 理事：事業実施概要中の我が家のエコノート目標 50 の記述の 50 はどういったことかわかりづらい。

丸井理事：「目標 50」の記述を「目標参加者数 50 名」と補足する。

阿 理事：活動計算書の「差異」の表記を「予算差異」と表記すればどうか。

丸井理事：提案通りと「予算差異」と表記することとする。

谷崎理事：情報コーナーの委託事業費の入金は年度が変わってからということだが、その間資金はショートしないのか。

丸井理事：団体が発足した初期の段階では繰越金もなく、ショートする危険性をはらんでいたが、繰越金があるのでそう言った心配はなくなった。

(7) 第 5 号議案 平成 27 年度事業計画書(案)承認の件

第 6 号議案 平成 27 年度活動予算書(案)承認の件

議長は上記議案を上程し、丸井理事が概要について、モビリティマネジメント事業の公共交通利用促進事業として、26 年度行った「公共交通にまつわる絵本や紙芝居募集」の最優秀受賞作品(絵本)を製本印刷し、市内の図書館等に設置してもらえるよう取り組んでいくことや、HP のリニューアルを行うこと、また、まちづくり部会の新規事業として「わがまちおたから発見」として歴史ウォークとマップ作製等に取り組む旨の説明をした。その後議長が質疑を求めたところ、下記要約の通り質問がなされ、担当者が説明を行った。その後、議長が承認を全員に諮ったところ、全員異議なく一部加筆修正した原案を承認可決した。

※質疑応答

末岡理事：会費収入の予算建ての考え方として、正会員の予算は 3000 円の倍数で考えるべきでは

丸井理事：会費収入予算総額の中で調整し修正する。

重村監事：サプリ村野に設置した太陽光パネルについて、情報コーナーで様々な情報提供等、活用ができるよう、可能かどうかわからないが検討していきたいと考えているので、その受け皿、担い手となっていくという

ようなことや、夏のクールスポットとしての役割を果たしながら、夏休みの子供向け自由研究に役立つような楽しい企画や、環境啓発にも取り組んでいてもらいたいと希望している。したがって、そう言ったことを事業計画に盛り込んでもらえればいいのだが

丸井理事：貴重な意見として検討する。

井上理事：設置されているところを直接見ることはできないのか

重村監事：屋上は、防水等の関係もあるので直接見ることはできないがグラウンドの隅から見れば正面から見るができる。

丸井理事：サプリ村野の受付カウンターで質問等があれば環境情報コーナーに誘導してもらえるようお願いしたい。

植田理事：市民活動支援センターからの申し入れで可能なので対応させていただく。

井上理事：設置された太陽光発電についての情報の提供をお願いしたい。

重村監事：情報提供する。情報については、環境ネットワーク会議内での共有を図って頂きたい。

市山理事：クールスポットの考え方について、里山や、川辺などの自然のクールスポットという考え方はないのか。自然のクールスポットについての情報提供もすべきでは

重村監事：ここで指定しているクールスポットは、大阪府の取り組みに連動したものであるため、自然のクールスポットという考え方の立ち位置が異なるので、それはそれとして取り組んでいくことが望ましい。

谷崎理事：10周年を迎え、これを機に環境ネットワーク会議の理念の見直しを行ってはどうか。三者協働と言っているが、本当にできているのか、できるのか等も、見直す必要があるのでは。

豊高理事：昨年中期計画をつくったが、それも踏まえ理念、事業について見直し検討していくことが望まれる。

丸井理事：貴重な提言として受け止め、今後の中で話し合っていきたい。

7. その他（報告、意見交換、今後の行事説明など）

末岡理事より総会等、今後の行事予定についての案内があった。

8. 閉会のことば

議長は、以上をもって本日の議事を終了した旨を述べ、閉会を宣言した。

(12時25分)

上記の議事の要領及び結果を明確にするために、議長並びに議事録署名人2名が、次に記名押印する。

平成27年5月8日

特定非営利活動法人ひらかた環境ネットワーク会議 理事会

議 長 丸井 晶子 ⑩

議事録署名人 市山 二郎 ⑩

議事録署名人 井上 祥子 ⑩